

演奏者プロフィール



バルトン：小川 哲生

Baritone : Tetsuo Ogawa

和歌山県出身、国立音楽大学卒業、同大学院修了、文化庁オペラ研修所修了。日伊コンクール入選。東京文化会館推薦音楽会合格。オーストリアのカーリンティッシュゾンマー音楽祭に参加。波多野靖祐、エリック・ヴェルバ、クラウス・オッカーの各氏に師事。

バリトン歌手として二期会、日生劇場、東京室内歌劇場等、数多くのオペラ公演に出演する。またコンサートでも、バッハの「マタイ受難曲」、「ヨハネ受難曲」、バリトンソロによるカンタータ、ベートヴェンの「第九」、フォーレのレクイエム、マーラー「さすらう若人の歌」、オルフの「カルミナ・ブラーナ」、サミュエル・バーバーのバリトンと弦楽四重奏の「ドーヴァー・ビーチ」等、バロックから現代まで幅広く演奏活動を行っている。放送に於いても NHK-FM「午後のリサイタル」等に出演。

1998年にアイヒェンドルフの詩による歌曲、2002年「美しき水車小屋の娘」、2004年「冬の旅」、2005年ケルナーの詩による歌曲、2006年「詩人の恋」、2007年「マゲローネのロマンス」、2009年フォルテピアノの渡邊順生氏と「美しき水車小屋の娘」によるリサイタルを開く。また、ピアニストの三上かーりん女史とともに、様々なテーマによるドイツ歌曲のレクチャーコンサートを国内及びドイツのボン、フランクフルト、ハイデルベルク、シュパイアー等で開催している。

最近の後進の指導を通して、ドイツの詩から生まれた音楽の素晴らしさをより広く伝える活動も行っている。国立音楽大学准教授、上智大学講師。二期会会員。国立音楽大学バッハ研究所所員。



ピアノ：杉山 潤子

Piano: Junko Sugiyama

桐朋女子高校音楽科、桐朋学園大学ピアノ科卒業。NHK 洋楽オーディション合格。日本ポーランド協会派遣給費生として、グダニスク高等音楽院（現モニューシュコ音楽アカデミー）に留学。当地にて数回のリサイタル出演。帰国後、朝日新聞社主催「ポーランドの夕べ」に出演。82、86、96年に東京にて自主リサイタル開催。それぞれ好評を博す。日本シマノフスキ協会主催「シマノフスキ没後 50 周年記念コンサート」出演。福岡、熊本、宮崎において「カワイ・サロン・コンサート」リサイタル出演。その他、東京近郊、及び大分市においても、多数のリサイタル活動を行っている。

また、声楽を中心とした伴奏活動も意欲的に行っており、多くの声楽家と共演し、カール・レーヴェ協会例会、フーゴー・ヴォルフ協会例会等、多数の演奏会に出演している。フーゴー・ヴォルフ協会同人。小川京子、故田中希代子、ズビグニュー・シリピンスキ、三上かーりんの各氏に師事。

※教職員の方は、当日会場受付にて、寄付金（一口 1,000円、一口以上）を申し受けます。ご理解ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

学生の入場は無料ですが、寄付は歓迎いたします。当日受付でお申し出ください。